

持続的農村開発論分野

Sustainable Rural Development

農山村地域に寄り添い、持続的発展を支援する！

(農学研究科 農村計画学分野 両任)

<http://www.rural.kais.kyoto-u.ac.jp/>

ルーラル・サステナビリティ
Rural Sustainability

持続的農村開発論

農村発展論
Rural Development

計画論
Rural Planning

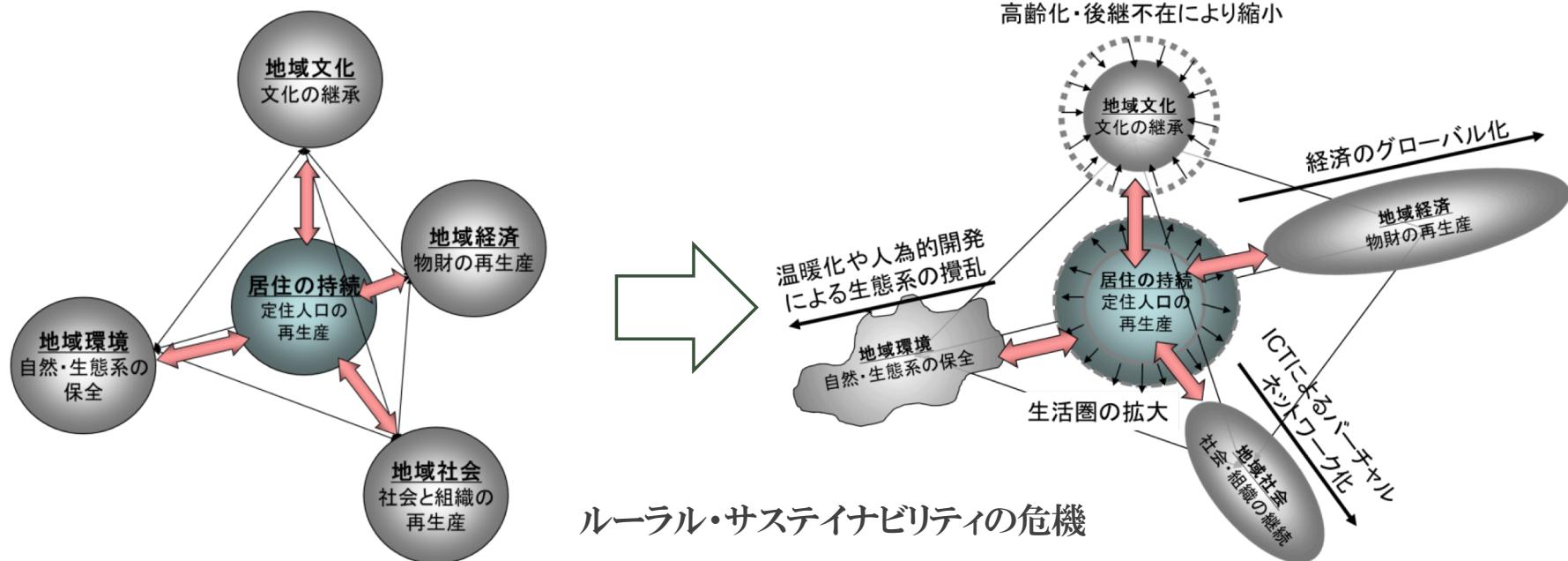
持続的農村開発論
=農村計画学のルーラル・サステナビリティ

農村計画学=農村発展論U計画論

Research Mission

農山村地域の持続性(ルーラル・サステナビリティ)は、定住人口の再生産、物財の再生産、社会・組織の継続、自然・生態系の保全、文化の継承の5つの要素が地理的に限定されたフレームの中で維持されてきました。しかし近年、過疎化・高齢化、グローバル化、気候変動、人為的な開発などの影響を受けて、その持続性は大きく損なわれつつあります。

持続的農村開発論分野では、農村計画学的な視点から、地域課題の解決とその先にある地域固有の持続性を再建するために、農山村地域の発展メカニズムの解明および制度・政策の設計と評価に取り組んでいます。



Research Topics

キーワード:

ルーラル・サステナビリティ, 地域活性化, 地域資源管理, 土地利用計画, コミュニティ開発, 鳥獣害対策, 放棄地対策, 農村移住, 市町村条例, 農村整備事業, 農村協働力, 地域情報化, 生態系サービス, 資源循環, 社会シミュレーション, 制度比較, 農家民宿, 集落支援員, 農村景観



2018年度に公表された論文

- Kenichiro Onitsuka, Kento Ninomiya, Satoshi Hoshino: Potential of 3D visualization for collaborative rural landscape planning with remote participants, *Sustainability*, 10, 9, pp.1-24, 2018
- Kenichiro Onitsuka, Satoshi Hoshino: Inter-community networks of rural leaders and key people: Case study on a rural revitalization program in Kyoto Prefecture, Japan, *Journal of Rural Studies*, 61, pp.123-136, 2018
- 田畠広野・鬼塚健一郎・星野 敏:地域おこし協力隊による情報発信活動を目的としたソーシャルメディアの利用実態と今後の有効活用に向けた課題, *農村計画学会誌*, 37, 1, pp.51-60, 2018
- Kenichiro Onitsuka, AR Rohman Taufiq Hidayat, Wanhuai Huang: Challenges for the next level of digital divide in rural Indonesian communities, *The Electronic Journal of Information Systems in Developing Countries*, 84, 2, pp.1-25, 2018
- Ryohei Yamashita, Satoshi Hoshino: Development of an agent-based model for estimation of agricultural land preservation in rural Japan, *Agricultural Systems*, 164, 264-276, 2018*
- Qayumi Habibullah, Satoshi Hoshino, Kenichiro Onitsuka: Community Development and its Underlying Challenges in Afghanistan: Focus on National Solidarity Program, In proceedings of PAWEES & INWEPF International Conference, 2018.
- Kenichiro Onitsuka, AR Rohman Taufiq Hidayat: Does ICT facilitate or impede migration of rural youths in Indonesia?, In proceedings of 9th international conference rural research planning group, 2018

Members & After Graduation

研究室メンバー:

* 教員 2名

教授

准教授

星野 敏

鬼塚健一郎

協力教員 1名

特定准教授

清水夏樹(森里海連環学教育研究ユニット)

* 研究員 4名

李 帝明

豊嶋尚子

山田浩子

YOU Hag Yeol(招聘外国人学者)

* 事務補佐員 1名

鳥羽加菜子

* 学生 27名(含農学研究科・グローバル生存学)

博士後期課程 6名

修士課程 15名

学部4回生 8名(農学部地域環境工学科)

最近の進路(含農学研究科)

* 2018年度

大学院進学, ソフトバンク, 東急不動産, アクセンチュア, 富士通, サンキンB&G, JTECT, 三重県

* 2017年度

大学院進学, 日清食品, パナソニック, 農水省,

日本生命

* 2016年度

早稲田大学, 岡山大学, こころの未来研究センター, 農水省, 東京都, 篠山市, 地域おこし協力隊, マツダ, 東京都市大学

* 2015年度

大学院進学, 神戸大学, 農水省, 京都府, 能登里海教育研究所, キーエンスソフトウェア, NTTビジネスソリューションズ

* 2014年度

大学院准学 環境省 矢崎直 愛媛県 開拓